

新緑知多研究研修報告書

1 研究研修項目

「全国地方議会サミット 2019」

主催 ローカル・マニフェスト推進連盟

マニフェスト大賞実行委員会

共催 早稲田大学マニフェスト研究所

2 研究研修場所

東京ビッグサイト 7階国際会議場

(東京都江東区有明三丁目 1 1-1)

3 実施年月日

令和元年 8 月 1 日 (木)・2 日 (金)

新緑知多研究研修報告書

実施年月日	令和元年8月1日(木)・2日(金)
研究研修場所	東京ビッグサイト7階国際会議場
研究研修項目	全国地方議会サミット2019～チーム議会が地域をより良くする～
参加者	川脇裕之
研究研修内容	<p>【基調講演】「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」北川正恭(早稲田大学名誉教授、元三重県知事)</p> <p>【パネルディスカッション①】「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」江藤俊昭(山梨学院大学教授)、杉田淳(NHK報道局選挙プロジェクト副部長)、久保隆(NHK報道局選挙プロジェクト記者)</p> <p>【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」清水克士(滋賀県大津市議会局次長)、小原昌江(岩手県北上市議会事務局議事課長)、岩崎弘宜(茨城県取手市議会事務局次長)、小林宏子(東京都羽村市議会事務局長)</p> <p>【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く(その1)」松田崇義(株式会社メディアドウ smart 書記事業部長)</p> <p>【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」片山善博(早稲田大学教授、元総務大臣)</p> <p>【先進事例報告】「チーム議会の実践と課題」千葉茂明(月刊「ガバナンス」編集長)、早苗豊(北海道芽室町議会議長)、諸岡覚(三重県四日市市議会議長)、梅村均(愛知県岩倉市議会議長)</p> <p>【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から首長との関係を考える」北川正恭(早稲田大学名誉教授、元三重県知事)、谷畑英吾(滋賀県湖南市長)、越田謙治郎(兵庫県川西市市長)、上村崇(京都府京田辺市長)</p> <p>【先進事例報告】「チーム議会の視点から選挙のあり方を考える」中村健(早稲田大学マニフェスト研究所事務局長)、則武宣弘、中原淑子、林敏宏(公明党岡山市議団)</p> <p>【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く(その2)」米田英輝(東京インタープレイ株式会社代表取締役)</p> <p>【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から市民との関係を考える」佐藤淳(青森中央学院大学准教授)、瀧野良枝(長野県飯綱町議会議員、元飯綱町議会政策サポーター)、原口佐知子(静岡県牧之原市市民ファシリテーター)、田口裕斗(岐阜県可児市議会高校生議会、現立命館大学3年)、竹下修平(愛知県新城市議会議員、元新城市若者議会議長)</p> <p>【パネルディスカッション】「国会は地方議会をどう見ているか」石破茂(自由民主党衆議院議員、元地方創生担当大臣)、稲津久(公明党衆議院議員、党地方議会局長)、逢坂誠二(立憲民主党衆議院議員、元ニセコ町長)、廣瀬克哉(法政大学教授)</p>

所 感

【基調講演】「なぜ今“チーム議会”が必要なのか」

・「地方議会はチーム議会として議員間での討議・議論が重要である」等の北川氏の講演

→チーム議会は望ましいが、議員の意欲や政策形成能力が欠如した状況や、首長や執行部が議会を追認機関とみなしている状況では、議会がチームとして機能するのは難しいのではないかと考える。個々の議員の活動が重要であり軸になると考える。

【パネルディスカッション】「NHK地方議員2万人アンケートのホンネ」

・アンケートは2019年1月から3月までに全国全ての1,788の議会に対して実施。全126問で構成。対象者は3万2,450人。そのうちの59.6%である1万9,325人から回答

→史上初の大規模調査から浮かび上がってきた実態/議員像は大変興味深いデータである。「立候補するに当たって論文試験をやるべきである。あまりにもレベルが低い議員がいるので」（70代男性町議）等の辛辣な意見も寄せられている。ただし、アンケートの質問に有用性のある項目が少ないため、定性的な面が大きい調査となってしまうのが残念。分析項目及びデータ活用の目的を持って調査は実施すべきであると考え。本市でも目的や活用方法に疑問を感じるアンケート調査が散見されるので、チェック及び改善を促していきたい。

【パネルディスカッション】「チーム議会に職員だからできること」

・事務局職員のディスカッション

→「職員は議員のためでなく市民のために働いていることを理解してほしい」

「一般質問の通告をした後に調査依頼をするケースがあり依頼先の事情も考えてもう少し早めに依頼をしてほしい」「せっかく視察に行くのであれば視察報告書を自らつくってほしい」など、事務局職員が議会や議員に対する切実な悩みをサミット参加者に訴求しつつ、会派の垣根を超えてフラットな関係で議員同士が議論できる場の形成や、職員提案の事例などを紹介。先進的な取り組みは全国的に横展開される

のが望ましいと考える。

【先進事例紹介】「A I ・ I C Tで議会の未来を切り拓く（その1）」

・ I C T活用による業務効率化の取り組みとサービス紹介。

→業務効率化及び生産性向上のために、積極的に I C T活用は進めるべきであると考えているが、使う側の能力（リテラシー）に欠ける現状では、費用対効果を生むのは難しいと考える。

【講演】「チーム議会の視点から見る議会・議員の役割」

・目指すべき議会・議員の役割等の片山氏の講演

「ひとつひとつの事件を見極めて議論して取り扱い是々非々で決めていくことが重要である」との片山氏の指摘に賛成である。執行部及び議員が皆で証拠固めをして決めていくことが重要。議員は議案を入念にチェックしなければならないが、機能していない現状に危機感を覚える。

【先進事例報告】「チーム議会の実践と課題」

・先進自治体の事例報告

→議会改革度調査の上位議会議長の報告

議会モニター、シティーミーティング、議会基本条例、議案の賛否公表、議案に対する意見募集、議員定数削減、市民アンケート等の取り組みの紹介

【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から首長との関係を考える」

・首長によるディスカッション

→「首長は権限が大きく1人なので独裁の危険性がある」「議会は合議制の意思決定機関であるため安定性がある」「議会は市長提案に対し修正権限があり権限活用を検討すべきでは」「議会は議員同士で議論をしているのか、意思決定をしているのか疑問な点がある。細かすぎる質問でなく大局的な政策についての質問をすべき」との各市長の指摘。今後の議員活動に活かしたい。

【先進事例報告】「チーム議会の視点から選挙のあり方を考える」

・岡山市議団の事例報告

→岡山市の市議会派の取り組みの紹介

【先進事例紹介】「AI・ICTで議会の未来を切り拓く（その2）」

・議会ペーパーレス化とその波及効果、SideBooksサービス紹介及び導入事例紹介

→役所と議会が、デジタルデータの管理及び活用方法のポリシー/運用方法を確立しなければ、費用対効果を生むのは難しいのではないかと考える。ペーパーレス自体を目的化するのではなく、デジタル化により業務効率化を図ることを目的にしなければならない。費用対効果の最大化が重要であると考えている。

【パネルディスカッション】「チーム議会の視点から市民との関係を考える」

・各地域の市民活動経験者によるパネルディスカッション

→市民の意見反映のために多様な人材が市議会にいるのが望ましいと考える。

【パネルディスカッション】「国会は地方議会をどう見ているか」

・国会議員及び大学教授のパネルディスカッション

→「やりっぱなしの行政、行政頼みの民間、無関心層の三位一体の状況にある」「チーム議会の前に、議員力のアップ、マニフェスト、聴く力が課題」などの各登壇者から指摘。人口減少社会において、現行の地方交付税制度や、都道府縣市町村の形態による行政運営は構造的に限界を迎えていると考えるが、地方議員として本市の行政改善のためにできることからひとつずつ活動をしていきたい。